

テーマ：ピロリ菌から胃を守ろう！！

ようやくしのぎやすい季節となりましたが、皆さん夏の疲れは残っていないでしょうか？
健診保健部の秋は、企業の健診や個人で受ける人間ドックの予約が多くなるとても嬉しい時期です。
そのため、当院の職員健診は忙しいこの時期をはずして実施させて頂いていますが、今回はその職員健診ではじめて取り組んだ胃のABC検診についてお話します。

Q.胃のABC検診とはなんですか？

A. 血液検査をして①ピロリ菌に感染しているかどうかと②胃の炎症（委縮）の程度を調べて胃がんになりやすいかどうか胃の健康度をABC群にわけて評価する検診です
※ただし、ピロリ菌の除菌治療を受けたことがある人や胃薬を服用中の方、胃の手術を受けた人などは正しい判定ができないのでご注意ください。

ヘリコバクターピロリ感染胃炎

2013年2月から内視鏡検査でヘリコバクターピロリ感染胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍と診断された方は、保険を使ってピロリ菌の検査や治療を受けることができるようになりました。ピロリ菌が感染することで生じる胃炎で通常自覚症状はありません。ピロリ菌に感染していると胃がんになりやすいことがわかっていますので、除菌による胃炎の進行予防は胃がん発症を抑制することにつながります。



ピロリ菌の正体

ピロリ菌はウレアーゼという酵素で胃液内の尿素を分解してアルカリ性のアンモニアを作り胃酸の中でも生きられます。また、べん毛をもっていて、強力な胃酸から逃れるためべん毛を回転させ安全な場所に逃げることもできます。そして、ピロリ菌は口から感染します。とくに感染しやすいのは乳幼児期です。

今回、たくさんの職員にうけて頂いた胃のABC検診。A判定：179名
B判定：51名、C判定：53名でBC判定の方が全体の36.7%という結果でした。ご自分の胃の健康度がわかるよい機会となったのではないのでしょうか？
BC群の方は、ぜひこの機会に一度胃内視鏡検査による胃のCHECKをお勧めします。
健診保健部